3年連続！「攻めの IT 経営銘柄」にニチガスが選定！

2018 年5月 31 日

日本瓦斯株式会社

当社は、経済産業省と東京証券取引所が共催する「攻めの IT 経営銘柄 2018」に、3年連続で選定されましたのでお知らせいたします。なお本年は、選定プロセスにエントリーした 491 社のうち 32 社が「攻めの IT 経営銘柄」として選定されており、うち、当社を含む 12 社が3年連続での選定となります。

「攻めの IT 経営銘柄」は、2015 年に創設され、経済産業省と東京証券取引所が、新たな価値の創造、経営革新、収益水準・生産性の向上をもたらす積極的な IT 活用に取り組んでいる上場企業を選定するものです。

当社の選定においては、基幹業務システム「雲の宇宙船」に先端 ICT を取り入れ、お客様へ最適な個別サービスの提供を可能にする次世代「雲の宇宙船」を構築する取組や、次世代「雲の宇宙船」のオープン化（外販）を通じて異業種との連携を加速させ、シェアリングエコノミーサービスの基盤に成長させる取組等が評価されました。

人口動態の変化が著しく、生活のあり方やニーズが多様化している現在の日本において、標準化されたサービスは、お客様に不便を強いるものになり得ます。一方で、生活がどれだけ多様化しても、ガスや電気などのエネルギー利用は不可欠です。次世代「雲の宇宙船」は、先端 ICT を活用し、エネルギー供給を通じて生活に関するビッグデータを収集・解析し、お客様がストレスを感じることのない、多面的できめの細かい個別サービスを可能にします。

技術的には、次世代「雲の宇宙船」は、LTE-M 通信技術(低消費電力無線通信回線)を用いて、様々な機器からデータを収集し、人工知能(AI)による解析を通じて、最適なエネルギー利用提案等の個別サービスを可能にします。なお、言語機能を有する AI がお客様からのお問合せに 24 時間 365 日対応するコールセンターがすでに稼働しています。

また、当社は API を活用し、次世代「雲の宇宙船」の汎用性を高め、異業種を含む事業者へのオープン化を進めております。システムのユーザーは、コールセンターや決済といった希望する機能のみを選択し、自社の既存システムを再構築せずに利用することができます。当社は、次世代「雲の宇宙船」を通じ、異業種との連携を加速させ、シェアリングエコノミーサービスを実現させてまいります。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

日本瓦斯株式会社 コーポレートコミュニケーション部 担当：松谷
TEL: 03-5308-2116

＜参考資料1．攻めの IT 経営銘柄 2018 選定企業（32 銘柄）＞

証券コード	企業名	業種	2017 銘柄	2016 銘柄	2015 銘柄
1435	株式会社TATERU	建設業			
1925	大和ハウス工業株式会社	建設業	●	●	
2501	サッポロホールディングス株式会社	食料品			
2502	アサヒグループホールディングス株式会社	食料品	●	●	●
3401	帝人株式会社	繊維製品			
4005	住友化学株式会社	化学	●		
4901	富士フイルムホールディングス株式会社	化学	●		
5108	株式会社ブリヂストン	ゴム製品	●	●	●
5411	JFEホールディングス株式会社	鉄鋼	●	●	●
6301	株式会社小松製作所	機械			●
7013	株式会社IHI	機械		●	
6501	株式会社日立製作所	電気機器		●	●
6702	富士通株式会社	電気機器	●		
7201	日産自動車株式会社	輸送用機器	●	●	●
7911	凸版印刷株式会社	その他製品			
9503	関西電力株式会社	電気・ガス業			
9020	東日本旅客鉄道株式会社	陸運業	●	●	●
9202	ANAホールディングス株式会社	空運業			
4689	ヤフー株式会社	情報・通信業	●	●	
4739	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	情報・通信業	●		
8031	三井物産株式会社	卸売業	●	●	●
3134	Hamee株式会社	小売業	●	●	
8174	日本瓦斯株式会社	小売業	●	●	
8306	株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	●		
8411	株式会社みずほフィナンシャルグループ	銀行業	●	●	
8601	株式会社大和証券グループ本社	証券、商品先物取引業			
8766	東京海上ホールディングス株式会社	保険業			●
8439	東京センチュリー株式会社	その他金融	●	●	●
8840	株式会社大京	不動産業			
8848	株式会社レオパレス21	不動産業	●		
2120	株式会社LIFULL	サービス業	●		
2432	株式会社ディー・エヌ・エー	サービス業			

＜参考資料2. IT 経営注目企業 2018 一覧（22 銘柄）＞

「攻めの IT 経営銘柄 2018」に選定された企業以外で、総合評価が高かった企業又は注目されるべき取組を行っている企業等を選定するものです。

証券コード	企業名	業種	攻めの IT 経営銘柄		
			2017 銘柄	2016 銘柄	2015 銘柄
1802	株式会社大林組	建設業			
1928	積水ハウス株式会社	建設業		●	●
4188	株式会社三菱ケミカルホールディングス	化学			
4911	株式会社資生堂	化学			
5101	横浜ゴム株式会社	ゴム製品			
5966	京都機械工具株式会社	金属製品			
6367	ダイキン工業株式会社	機械			
6701	日本電気株式会社	電気機器	●		
6768	株式会社タムラ製作所	電気機器			
7912	大日本印刷株式会社	その他製品			
9504	中国電力株式会社	電気・ガス業	●		
9201	日本航空株式会社	空運業	●	●	
3677	株式会社システム情報	情報・通信業			
3762	テクマトリックス株式会社	情報・通信業			
3963	株式会社シンクロ・フード	情報・通信業			
4687	TDCソフト株式会社	情報・通信業			
8251	株式会社パルコ	小売業			
8354	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	銀行業			
8703	カブドットコム証券株式会社	証券、商品先物取引業			
8725	MS＆ADインシュアランスグループホールディングス株式会社	保険業			
8586	日立キャピタル株式会社	その他金融業			
2378	株式会社ルネサンス	サービス業			

＜参考資料3．当社紹介資料＞

NICIGAS 日本瓦斯株式会社
（小売業／8174）

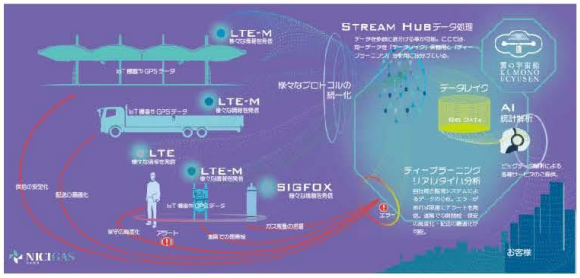
先端ICTを駆使し、地域サービスの革新に挑む

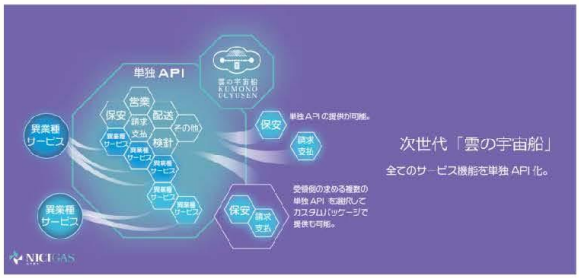
次世代「雲の宇宙船」の実現

当社の基幹業務システム「雲の宇宙船」は、機能追加を繰り返しながら、業務効率化と保安の高度化を実現し続けています。しかし、当社はここであえて、現「雲の宇宙船」をレガシーシステムと認識し、次世代「雲の宇宙船」の構築に取り組んでいます。

現在の日本は人口動態の変化が著しく、生活のあり方やニーズが複雑化、多様化しています。こうした環境下では、標準化されたサービスは消費者に不便を強いる結果となり得ることから、当社は先端ICTの活用によって、多面的できめ細かなインターフェースと消費者への提案を実現し、消費者がストレスを感じることのないサービスの提供を目指しています。

次世代「雲の宇宙船」では、LTE-M通信技術*を用いてIoTを実現し、様々な機器からエネルギー利用に係るビッグデータを収集、AIによる解析と提案を通じて最適な個別サービスを提供していきます（*LTE-M通信技術：IoT向け低消費電力無線通信回線）。





加えて、言語機能を有するAIがお客様からのお問い合わせに24時間365日対応するAIコールセンターをすでに稼働しています（「AIコンシェルジュ」）。これにより、お客様は「待つ」というストレスを感じません。また、その問い合わせ内容は、自動的にリアルタイムで担当者に共有されます。

そして、当社は更に、この次世代「雲の宇宙船」の、コールセンターや決済といった各機能をAPI化し、オープン化（外販）することで、異業種との連携をさらに加速させ、次世代「雲の宇宙船」を基盤としたシェアリングエコノミーサービスを実現させていきます。

次世代「雲の宇宙船」は、従来のシステムとは別次元とも言える機能を兼ね備え、「従来の画一的なレガシーシステムの破壊」により、地域サービスの「新たな概念創出」を実現するものです。当社は、次世代「雲の宇宙船」を通じ、一人ひとりのニーズに合った、最適なサービスの提供という新たな概念創出に挑戦します。

攻めのIT経営・5つの評価軸別取組み状況

